

## 国際婦人年連絡会 2020 年度第 5 回セミナー

「女性の生涯を通じた健康のために プレコンセプション・ケアを学ぶ」での講演について

理事 種部恭子（産婦人科医/富山県議会議員）

2021 年 1 月 31 日、国際婦人年連絡会主催のセミナーにおいて、プレコンセプション・ケアに関する講演をさせていただきました。

人生 100 年時代、最期まで自分の足で立ち、自分で決めながら全うするためには、乳幼児期から「健康を育てる」、いわゆるライフコースアプローチが重要です。最近では、胎児期、とくに妊娠が成立する数か月前からの健康投資がゲノムやエピジェネティックな変化により生涯の健康を決定づけることがわかっており、妊娠成立前から妊娠に影響を与える悪い要因の除去および良い要因の強化を行うことにより健やかな妊娠出産および次世代の健康の土台を形成する「プレコンセプション・ケア」に取り組む必要性が認識されてきました。

私は 2020 年 12 月に閣議決定された国の第 5 次男女共同参画基本計画の策定委員を務めており、本計画の「生涯を通じた健康」の分野において初めて

「プレコンセプション・ケア」を取り入れました。今後、国全体で具体的政策を進めていくこととなりますが、とくに重要だと考えているものがヘルスリテラシーと、受け皿となる女性医療の量的質的向上です。

女性は初経教育、避妊や性感染症予防などに限定される狭い範囲の性教育ぐらいしか、健康を育てるための情報を手に入れる機会がありません。暴力の防止、栄養、運動、計画的な妊娠のための情報はもちろん、更年期以降の長い人生のための健康投資の知識も、全く与えられていないのが現状です。結果として、妊娠に最も適した年齢がちょうどキャリア形成に重要な年齢と一致することから、女性はキャリアと妊娠のプランをトレードオフにかけ、何かを諦めたり、何かを犠牲にしたりしなければ、健康と活躍の両方を手に入れることができない状況に置かれています。

まずはプレコンセプション・ケアに関する情報の普及、そして女性の活躍推進とあわせて女性の健康向上政策を進めることが、少子高齢人口減少時代を乗り切るためのレバレッジ・ポイントだと考えています。

今後も引き続き、プレコンセプション・ケアに関する情報発信と啓発活動に注力していくことが、女性の活躍を支えるものと信じております。

なお、この講演の機会を頂いた日は、ちょうど富山市長選の党内予備選挙投開票日でした。少子高齢人口減少に立ち向かわなければならないのに若い

女性の転出超過が続く富山。女性の継続就業率が全国4位なのに女性の管理職比率42位の富山。こんな富山の風土を変えることなくして、少子化は止まりません。アイデアがたくさんあること、そして初の女性市長が誕生すれば、若い女性や女の子たちが可能性を感じるだろうことを掲げて正面突破に挑みましたが、残念ながら候補者には選ばれませんでした。

しかし、この予備選挙の一部として行われた世論調査では、私の支持がトップでした。世論は女性リーダーを求めている、と感じた瞬間です。これまでも、これからも、SDGs Goal5、Gender equalityを一丁目一番地において政治家と医師の二足の草鞋があるからできることを追求したいと考えております。

## 種部恭子先生のご講演を拝聴して

コンセプション（Conception）は受胎を意味し、プレコンセプション・ケアとは早い段階から妊娠・出産の知識を持ち、女性やカップルが自分たちの生涯に亘って生活や健康に向き合うこと、と言われていています。2006年に米国疾病対策センター（CDC）が世界に先駆けて導入した概念で、2012年からはWHOも対策を始めています。

我が国では、2020年12月の第5次男女共同参画基本計画の中に初めて「プレコンセプション・ケア」が国の事業として盛り込まれました。それには計画の策定委員の一人として種部先生の絶大な尽力があつての成果と聞いています。

前置きが長くなりましたが、プレコンセプション・ケア（Preconception Care）の推進は官民一体となって立ち向かわなくてはならないと感じました。健康な男女の成人を作るには子宮の環境から考える必要があり、特に若い女性への健康教育、すなわちプレコンセプション・ケアが日本の将来を担っているとの種部先生のご指摘は、長年に亘る臨床医の経験から得た深い洞察と広い視野によるものであり、大変に説得力がありました。

富山市長選推薦候補者の党内予備選挙において、世論調査でトップにもかかわらず候補者に選ばれなかったことは、ご講演後の藤川眞理子先生との対話セッションで明らかにされました。時代は女性のリーダーを求めているのに、男性優位意識の現れの何ものでもありません。JAMP は男女平等の時代を実現するために、これからも根気強く活動をして行きましょう

2021年2月6日 津田喬子